

中学校 技術・家庭科部会 研究活動概要

- I. 研究主題 確かな知識と技術を身に付け、社会の変化に対応し、
生活に活かす力を育む学習指導のあり方

II 研究及び活動の概要

1. これまでの研究の過程

技術・家庭科部会では「日常生活に生かせる学習指導のあり方」の研究を行っている。
今年度は、より一歩深めたものとして「社会の変化に対応し生活に活かす力を育む学習指導のあり方」を研究主題とし、新学習指導要領での必修領域の拡大に伴い、新たな題材の研究や体験的・実践的活動での指導のあり方についての研究を進めることとした。

2. 本年度の研究内容

月	日	曜日	おもな活動内容
4	24	木	定例集会（市東中学校）
6	9	月	定例集会（ちはら台西中学校）
6	20	金	千葉県教育研究会 技術・家庭科研究大会 （君津市民文化ホール）
7	30	水	技術・家庭科 実技研修会（八幡中学校）
8	26	火	市原市教育研究集会（三和コミュニティセンター）
11	1, 2	土、日	千葉県教育研究集会
11	11	火	定例集会（技術：八幡中学校、家庭：ちはら台西中学校）
11	15	土	千葉県中学校創造ものづくりフェア（総合教育センター）
11	20, 21	木、金	関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会（群馬）
1	17, 18	土、日	市原市小中学校技術家庭科作品展覧会（五井小学校体育館）

(1) 4月24日 「定例集会」

- ・本年度の研究主題及び研究計画の決定
- ・研究組織および、提案者の確認

(2) 6月9日 「定例集会」

- ・家庭分野教材研究
「調理実習」→千産千消をテーマに（おからを使ったケーキなど）
- ・技術分野題材研究
「生物育成に関する技術」の実践（計画）報告会
- ・県研究大会出品予定の生徒作品を集約

(3) 7月30日 「技術家庭科実技研修会（地方伝達講習会の内容も含む）」

技術分野	家庭分野
・木工の技作品見本の製作 ・角材による掲示板の作成 ・富士通環境出前授業（パソコンのリサイクル）	・調理の技術（筑前煮、赤飯、けんちん汁） ・日常食の献立の指導法 ・基礎縫いを使った作品の指導法

(4) 8月26日 「市原市教育研究集会」

【研究テーマ】 幼児とのふれあい体験の教育効果を高めるための学習指導の在り方
～課題を持ち、意欲的に関わるために～

【研究内容】

- ・訪問の事前・事後アンケートの考察
- ・年間計画の中の位置づけ
- ・課題を持ち、意欲的に関わるふれあい体験にするために
 - ①おもちゃの製作
 - ②ロールプレイングを取り入れた授業実践
- ・実際の訪問の様子
- ・成果と課題

(5) 11月11日 「定例集会」

- ・小学校家庭科部会との話し合い（小中連携に向けて）
- ・本年度の反省とまとめ
- ・千教研理事報告「ものづくりフェア」に向けて、県研究大会・関ブロに向けての今後の計画
- ・作品展に向けて ・次年度への取り組み、組織、役員の検討

3. 成果と今後の課題

【成 果】

- ・家庭分野での提案は、新学習指導要領の体験的・実践的活動の重視に則したものであった。地域や人数の制約がある中で、体験的活動の在り方や実施方法を考える参考になるものであった。
- ・栄養職員が部員に加入した。6月の調理実習でも講師として研修を行った。教員との知識や体験の共有を図ることで、今後の進展が期待できる。
- ・今年度初めて中学校家庭科と小学校家庭科の合同の話し合いを行った。小中連携への第一歩として成果が見られた。

【今後の課題】

- ・部会の人数が年々減ってきている、免許を持っている先生への部会への参加を促したい。
- ・来年度の1月の作品展の会場を、五井小学校から市原青少年会館に変更する。運営体制などを今後検討して準備を進めていく。
- ・平成29年度の6月に「千葉県教育研究会 技術・家庭科研究大会」が市原市で開催される予定である。来年度から計画的に準備を進めていく必要がある。